



Seisen
Junior & Senior
High School

清泉女学院中学高等学校

〒247-0074 神奈川県鎌倉市城廻200
TEL 0467-46-3171 FAX 0467-46-3157 http://www.seisen-h.ed.jp

カイロス

καίρος

第79号

2023年4月18日発行

この度、校長となりました小川幸子です。私は高倉前校長と同様、中高の六年間を清泉で過ごしました。清泉では幸せな中高生活を過ごし、大学は英文科に進学し英語の教員免許を取得しましたが、大学院修了後初めて勤めたのは東京の私学でした。さらにその後結婚や子育て、米国での生活など、色々な回りをしたため、縁あって再び清泉に戻った時には卒業から二十年以上の年月が過ぎていました。四十歳を過ぎて清泉で教壇に立ったときの第一印象、それは全然変わってない！でした。離れていた間に、図書館や職員室の位置が移動するなどの変化はありましたが、全体の雰囲気や生徒の様子は二十年以上たっても驚くほど変わっていませんでした。ベテラ



校長
小川 幸子

「建学の精神」II「チャレンジ」 七十五周年を迎えて



ンの先生の中には「昔と今ではだいぶ違うでしょ？」とおっしゃる方がいましたが、他校の様子を知る私からすると、清泉にはまさしく清泉にしかない空気があり、それは何十年たっても変わらない、と思いました。きっとそれが「伝統」というものなのでしょう。

では、清泉の伝統とは何でしょう？「伝統」と「建学の精神」は深く結びついていますから、「清泉の伝統とは？」という問いは「清泉の建学の精神とは？」という問いでもあります。創立者の聖ラファエラマリアの「すべての人が幸せになるように働くことが本当の愛」という言葉は建学の精神を表すものですが、同時に忘れてはいけないのは、実際に日本で学校を築いたシスターたちのことです。

ご存じのように清泉は九十年ほど前にスペインから来日したシスターの方が作った学校です。現代のように飛行機の直行便はなく、二か月以上の長く厳しい航海を経ての来日です。なぜそこまでして日本を目指したのかといえ、それは日本で新しい女子教育を、という熱い思いを抱いていたからで

す。言葉もわからない国で学校を作ろうというのですから、大変なチャレンジであり大冒険ですが、シスターたちには未来への希望と、様々な困難を乗り越えようとするバイタリティーがありました。また、シスターたちの誠実さや熱意は周囲の人たちにも伝わり、多くの人々の協力も得て、清泉女学院は歩みを始めました。

「建学の精神」や「伝統」という言葉には、「変えてはいけない守るべきもの」というイメージがあります。でも実際に日本に来たシスターたちは日本の女子教育を良い方向に変えたいと望み、未来を見つめていました。戦後と現代、社会状況は大きく変わっていますが、キリスト教ヒューマニズムというバックボーンは大切に守りながら、新しい教育に果敢に挑む、というのが本来の清泉の建学の精神であり、伝統ではないでしょうか。

今年清泉は創立七十五周年です。私が中学一年の時に、創立二十五周年のお祝いで現在の講堂がお披露目となり、その立派な外観や設備に圧倒されたのが心に残っています。そして半世紀を経て今、校長として七十五周年を迎えることに縁を感じています。シスターたちが示された建学の精神を忘れず、清泉の発展に力を尽くしたいと思います。よろしくお願いたします。



◆ INSIDE ◆

- ② 生徒指導部から・進路指導・研究部から・新担任紹介・年間行事予定
- ③ 大学合格実績・清泉百花百景
- ④ 高倉芳子先生
- ⑤ 75周年企画第3弾！歴代の校長にみる清泉女学院の歴史
- ⑥ 学生生活進行形 東邦大学 村山倫菜さん
- ⑦ 短信・賞・異動